群馬県
難聴児早期支援センター

ニュースレター NO.2　2026.10

難聴児早期支援センターが開設し、3か月が経ちました。
市町村の皆様はじめ、医療機関、聾学校等、関係の方々にお力をいただきながら取り組みを進めてまいりました。
保健師の皆様には、新生児訪問等で当センターをご紹介いただき、ありがとうございます。
今回は、これまでの運営状況についてご報告いたします。

個別相談

保健師さんからは、難聴の診断を受けた
お子さんの保護者への対応について、
保護者からは、難聴と診断されたお子さんとの
接し方について等のご相談がありました。
また、電話での相談にも対応してほしいとの
ご意見をいただきました。
今後は、フォームでお申し込みいただき、
電話相談にも対応いたします。





病院での受診立ち合い

新生児聴覚スクリーニングの最終精査機関である
群大病院とたかさき耳鼻科に毎週訪問し、主に初診の方の
受診立ち合い支援を行っています。
検査までの不安や、生活面でのご心配等の
ご相談に対応いたします。

群大病院耳鼻科：月曜日午後
たかさき耳鼻科：水曜日午前



関係機関訪問

難聴のお子さんが在籍している幼稚園を訪問し、
園の環境に応じた難聴児への配慮について
お話しさせていただきました。
保育所や放課後等デイサービス、児童養護施設等、
関係機関への支援も行います。



聾学校乳幼児教育相談立ち合い

初回相談に立ち合っています。
聾学校の担当者とともに対応し、お子さんの
接し方や今後の支援等について、保護者と一緒に
考えます。
また、必要に応じて他機関や市町村につなぎます。

☆聾学校乳幼児教育相談では
継続的な療育を行っています。



研修会・意見交換会



9月17日に、当センターが主催し、群馬大学附属病院言語聴覚士、
たかさき耳鼻咽喉科言語聴覚士、NPO法人きらきらスタッフ、
聾学校専門アドバイザー、センターコーディネーター、
障害政策課担当者による研修会・意見交換会を実施しました。

内容

- 聾学校乳幼児教育相談の参観・説明・質疑応答
- 難聴児早期支援センター運営状況報告
- 各機関からの報告
- 意見交換



意見交換では、「保護者の生活形態の多様化に応じた支援方法の検討の必要性」や
「専門の医療機関、療育機関が前橋、高崎に集中しているため遠方の方が利用しにくい等」の課題が挙げられました。
日頃、難聴のお子さんやご家族と直接関わっている方々 が、一堂に会して意見交換をすることができ、
有意義な時間となりました。

難聴児支援者研修開催のお知らせ



難聴児とそのご家族を支援している、または今後支援する可能性のある保健師さん、
施設職員さん等を対象に、難聴児への理解を深めてもらうための研修会を開催します。
皆様のご参加をお待ちしています。

日時　令和9年1月13日（水）10:00～16:30

場所　群馬県庁昭和庁舎 35会議室

内容

10:00～12:00	手話の言語発達について：金沢大学教授　武居 渡 氏
13:00～14:00	難聴児への対応／保護者への対応：群馬大学附属病院言語聴覚士　小原 透 氏
14:10～15:00	難聴児早期支援センター／聴覚障害児対象の児発・放デイについて：センターコーディネーター／ NPO 法人きらきら施設長
15:10～16:10	補聴器と人工内耳：たかさき耳鼻咽喉科院長　長井今日子 氏

☆NPO 法人きらきらによる委託事業となります。詳しくは研修会チラシをご参照ください。

群馬県難聴児早期支援センター
〒371-0803　前橋市天川原町1-4（聾学校内）
電話：027-212-0157
mail：nanchoji-shien@pref.gunma.lg.jp